

令和 7 年度 沖縄県海浜公園指定管理者制度運用委員会における  
モニタリングの検証結果について  
(令和 6 年度実績分)

1. 施設名：中城湾港安座真海浜公園
2. 開催日時：令和 7 年 9 月 1 日（月）13:15～13:50
3. 開催場所：沖縄県庁 11 階第 5 会議室
4. 出席者：委員 4 人中 4 人出席  
(会長) 小野 寻子（琉球大学工学部 教授）  
(委員) 下郡 みず恵（税理士）  
(委員) 嘉陽 恵美子（（株）ハルス建築環境設計 取締役）  
(委員) 目島 憲弘（（一財）沖縄観光コンベンションビューロー 常務理事）  
(事務局) 沖縄県 海岸防災課 3 人  
(指定管理者) 安座真海浜公園運営企業体 総括管理責任者 岡市 尚士
5. 検証事項：中城湾港安座真海浜公園（令和 6 年度実績）に係るモニタリングの実施結果
6. 検証内容
  - (1) モニタリングは適正に行われているか
  - (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか
  - (3) 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか
7. 検証方法
  - (1) 事務局によるモニタリングの実施結果の報告
  - (2) 委員からの質疑・意見
8. 検証結果  
施設の管理運営は、概ね適切に実施されていると確認がなされた。
9. 主な質疑・意見（議事概要）  
(委員) シャワー温水化の工事発注は、指定管理者でできないのか。  
(指定管理者) 指定管理者で発注を行うと、指定管理者の負担が大きくなるため難しい。  
(委員) 早期の温水化実施の検討をお願いする。  
(委員) 共同企業体の中に J A L ・ J T A セールスが入っているが、役割はなにか。  
(指定管理者) J A L ・ J T A セールスの役割は、送客としてツアーに組み込んだり、ユニバーサルデザインビーチのツアーに組み込んだり、お土

- （委員） 産品を売店で販売している。
- （委員） 利用客が前年に対して伸びているが計画に達していない点を改善する必要がある。
- （委員） 資料2の経営分析シートによれば、令和4年度、5年度、6年度も収支はマイナスか。
- （指定管理者） 現在、収支はマイナスになっている。自主事業の売上増加により改善を図っている。
- （委員） 自主事業のバーベキューは食材の値段も高騰しているが、収支に影響はないか。
- （指定管理者） バーベキュー値段の改正を行った。バーベキューは、集客への影響が大きいため、値段を調整して継続する。
- （委員） 修学旅行受け入れの実績はあるのか。予約はいつ頃入るのか。
- （指定管理者） 修学旅行受け入れの実績はある。予約は概ね1年前から受け付けている。

#### 10. 会議の公開状況：公開

## 指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	中城湾港安座真海浜公園	対象年度	令和6年度
------	-------------	------	-------

### 【 目 次 】

#### I. 履行確認・評価

1. 維持管理業務 ..... 1

- (1) 清掃
- (2) 保守・点検
- (3) 保安・警備
- (4) 小規模修繕
- (5) 備品購入
- (6) 防犯・防災対策
- (7) 料金徴収業務

2. 運営業務 ..... 3

- (1) 利用実績
  - 1) 利用者数等（又は入居率等）
  - 2) 施設稼働率
  - 3) 教室・イベント等参加者数
- (2) 運営企画
- (3) 受付・接客
- (4) 広報
- (5) 情報管理

3. 自主事業 ..... 3

II. サービスの質の確認・評価 ..... 4

III. 財務状況の確認・評価 ..... 5

1. 事業収支

- (1) 収入
- (2) 支出

2. 経営分析指標

IV. 総合評価 ..... 8

1. 目標

2. 評価結果

附表 経営状況分析シート ..... 9

※必要に応じて項目を追加・削除する。

### 指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	中城湾港安座真海浜公園	対象年度	令和6年度
指定管理者	安座真海浜公園運営企業体 (構成員名:沖縄文化スポーツイノベーション株式会社 合資会社 知念海洋レジャーセンター 株式会社 JALJTAセールス 特定非営利活動法人 バリアフリーネットワーク会議)  指定期間:令和4年4月～令和9年3月	所管課	土木建築部 海岸防災課

#### I. 履行確認・評価

##### 1. 維持管理業務

###### (1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
ゴミ回収、緑地等の草刈り、砂浜・トレ・シャワー室等の清掃	○	○ (ゴミ回収)	事業計画のとおり 実施	現地及び業務報告書で確認	整合性がとれている。	施設内の清潔が保たれている。今後も適切な衛生管理に努める。

###### (2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
定期的に施設内の設備を点検	○	○ (浄化槽 維持管理)	事業計画のとおり 実施	現地及び業務報告書で確認	整合性がとれている。	今後も適切な保守・点検に努める。

###### (3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
定期的に施設内を巡回警備(管理施設・駐車場・砂浜・護岸他)	○		事業計画のとおり 実施	現地及び業務報告書で確認	整合性がとれている。	今後も適切な保安・警備に努める。

###### (4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
定期的な巡回により、優先順位をつけ、効率的に修繕を実施	○		事業計画のとおり 実施	現地及び業務報告書で確認	整合性がとれている。	優先度の高い箇所より適切に修繕を実施。利用者の安全性と利便性に配慮し今後も適切な修繕を行う。

###### (5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
必要な事務用・維持管理用備品の購入	○		備品購入はなし	現地及び業務報告書で確認	-	今後も必要に応じ、優先順位、コストを考慮して備品の購入を行う必要がある。

###### (6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
監視員の配置、定期的な防災訓練、危険生物防止ネットや救護用具(レスキューポート、AED等)の設置	○	○ (夜間巡回 警備)	事業計画のとおり 実施	現地及び業務報告書で確認	整合性がとれている。	今後も適切に防犯・防災対策をとること

###### (7) 料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
シャワー料金、駐車場料金の徴収を行う	○	○	事業計画のとおり 実施	事業報告書のとおりであることを確認	整合性がとれている。	今後も適切に利用料金を徴収すること

※必要に応じて項目を追加・削除して記入すること。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

1. 維持管理業務 取組改善案	定期的な巡回により施設の至る所で破損や修正の必要な箇所の確認、対応を行い、施設利用者の安全管理に努めた。 次年度も引き続き、利用者の安全性と利便性に配慮し、指定管理者と県で連携し、優先度の高い箇所より適切に修繕を実施していく。
--------------------	--

※「1. 維持管理業務」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度( $\alpha + 1$ 年度)の主な取組改善案を記入すること。

## 2. 運営業務

## (1) 利用実績

## 1) 利用者数等

		令和5年度実績	事業計画 (目標値)	令和6年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
	個人利用者数	21,456	—	42,471	198%	—	コロナが5類に変更になり、国内観光客においてはコロナの影響はほぼなくなったと思われる。しかし、インバウンドにおいてはまだ完全に回復と言った状況ではないように思われる。レンタカー不足も解消されて来ているようだが、レンタカー利用料金が上がった為、バスやタクシーなどの公共交通期間を利用する人が増えて来ている。安座真はバスでの来場においては不便さあり、来場へのつながりが薄くなっている。また、駐車場の利用料が指定管理収入となっている現状では公共交通機関の利用での来場は駐車場利用料の減につながる。
	団体利用者数	4,455	—	4,908	110%	—	
利用者数	計	31,176	65,000	47,379	152%	73%	
【評価基準 (①利用状況)】				評価(①利用状況)	C		
目標値に対する達成率							
S : 110%以上、もしくは満室							
A : 100%以上、110%未満							
B : 80%以上、100%未満							
C : 80%未満							

## 2) 教室・イベント等参加者実績

	内容	令和5年度 実績	事業計画	令和6年度 実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
イベント	海開き	100	200	100	100%	50%	4／5海開きセレモニー
	学校遠足	461	700	263	57%	38%	県内中学校・高校計3校。BBQ及び海水浴で利用した。
	BBQ、マリンスポーツ、キャンプ他イベント	370	450	350	95%	78%	各種団体によるイベント利用
	ビーチクリーン	200	150			0.0%	外部団体で実施しており、人数把握ができない
	年越しキャンプ	156	0	0	皆減	0.0%	売店営業
	元旦初日の出	813	500	550	68%	110.0%	売店営業、豚汁無料配布
	修学旅行、研修会	310	400	0	皆減	0%	
	あざまサンサンマルシェ	2,040	1,500			0%	毎月第3日曜日に、知念漁協朝市と連携し実施 参加人数は把握できていない。
計		4,450	3,900	1,263	28%	32%	

## (2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈開館日数〉	355日	業務報告書のとおりであることを確認	整合性がとれている。	
〈開館時間〉	4/1～10/31 9:30～20:00	事業報告書のとおりであることを確認	整合性がとれている。	5類に変更後はコロナの影響はほとんどなくなったが、インバウンドのお客様の戻りはコロナ前に戻ったとは言えない。昨年より運営をしている売店、食堂の運営はまだ課題は残るもの徐々に定着してきていると思われる。遊泳期間終了後は、食堂の運営とキャンプがメインとなって来るが、初日の出のイベントやクリスマスから年明けまでにイルミネーションをテスト実施したところ、来場者は多く、イルミネーションの評判もよく、来年度も継続して欲しいという要望があった。また修学旅行の利用も少しずつ回復しているが、施設が古いためメンテナンスに人と時間と経費が必要となり人件費の高騰を招いている。
	11/1～3/31 9:30～19:00	事業報告書のとおりであることを確認	整合性がとれている。	
	※ビーチ開設期間 4/5(海開き)～ 10/31	事業報告書のとおりであることを確認	整合性がとれている。	

## (3) 受付・接客

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(該当者に○印)	(事業報告書)		
丁寧な対応を心がけ、予約、連絡ミスをしない	○	事業計画のとおり実施できた	整合性がとれている。	利用者に対してスタッフが丁寧に対応しており、今後もより良い対応を心がけること

## (4) 広報

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(該当者に○印)	(事業報告書)		
HP作成、SNS(インスタ、フェイスブック)掲載	○	事業計画のとおり実施	整合性がとれている。	集客増に向けて、HP更新及びSNS発信等工夫するなど効果的な広報に努めること。

## (5) 情報管理

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(該当者に○印)	(事業報告書)		
予約台帳等の個人情報を適切に管理する。	○	事業計画のとおり実施した	整合性がとれている。	トラブルなどは特に発生しておらず、引き続き適切な管理に努めること

## 3. 自主事業

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(該当者に○印)	(事業報告書)		
バーべキュー	○	バーべキュー食材の販売、器材のレンタル	整合性がとれている。	今後も適切な接客対応に努めること。
マリンスポーツ体験		○ バナナボート・シュノーケル等	整合性がとれている。	今後も安全に配慮したサービスを提供すること。
レジャー用品レンタル	○	パラソル等のレンタル	整合性がとれている。	今後も安全に配慮したサービスを提供すること。
売店	○	飲物、軽食等の販売	整合性がとれている。	顧客ニーズ対応に努め、今後も適切なサービス提供すること。
自動販売機	○	飲料自動販売機を設置	整合性がとれている。	品切れ等に留意し、今後も適切なサービスを提供すること。
施設使用料	○	キッチンカー施設利用」	整合性がとれている。	今後も適切に安全に配慮したサービスを提供すること。
キャンプサイト	○	閑散期に実施	整合性がとれている。	事業周知や顧客ニーズ対応に努め、閑散期の集客効果を高めること。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

2. 運営業務 3. 自主事業取組改善案	コロナの影響が無くなり客足は戻りつつあるが完全に回復していない。そのため収益にも大きく影響を及ぼしている。次年度以降は収益に影響する利用者数を更に増加させていくイベント等などの取り組みが必要である。
-------------------------	---

※「2. 運営業務」「3. 自主事業」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(α+1年度)の主な取組改善案を記入すること。

## II. サービスの質の確認・評価

アンケート実施方法		管理事務所にて施設利用者へ配布	回答者数	112名	アンケート内容	別紙(資料3)参照	
評価項目		第三者(利用者等)評価			指定管理者	現状分析・課題	
		令和5年度評価	令和6年度目標	令和6年度評価			
維持管理業務	施設・設備管理(シャワー、トイレ)	〈満足度〉85% (※1) ・満足 46% ・やや満足 37% ・やや不満 12% ・不満 5%	〈満足度〉85% (※1)	〈満足度〉100% (※1) ・満足 67% ・やや満足 33% ・やや不満 0% ・不満 0%	S	(要望への対応)  (自己評価) 施設は古いが、清潔感を心がけて清掃している。また、破損箇所などの自社修復をこまめに実施しているがシャワーの温水化の遅れがシャンプや修学旅行の集客にマイナスに働いている	利用者から要望のあったシャワーの温水化については、令和6年に改修予定である。 ベンチ破損箇所など修繕箇所については、指定管理者と県で連携し、優先度の高い箇所より適切に修繕等を実施していく。
運営業務	接客対応	〈満足度〉100% (※1) ・満足 61% ・やや満足 37% ・やや不満 2% ・不満 0%	〈満足度〉85% (※1)	〈満足度〉100% (※1) ・満足 82% ・やや満足 18% ・やや不満 0% ・不満 0%	S	(要望への対応) 特になし。 (自己評価) それぞれ丁寧な対応を心がけているが、これまで以上にお客様に丁寧な対応を心がける。救急対応など全スタッフへの研修を実施、安全管理に務める。	引き続き丁寧な接客対応、努める。
		〈満足度〉100% (※1) ・満足 48% ・やや満足 44% ・やや不満 8% ・不満 0%	〈満足度〉85% (※1)	〈満足度〉100% (※1) ・満足 68% ・やや満足 22% ・やや不満 9% ・不満 0%	S	(要望への対応) 危険箇所の修繕等を行った。 (自己評価) スタートシェード等を自費購入して日陰を増やし、熱中症対策を行っている。危険箇所の修繕等を行った。	施設内を清潔に保ち、整備については定期的に点検を行うなどトラブル防止に努めること。 危険箇所においては、指定管理者と県で共有し、改善方法及び処理について適宜対応していく。
	施設・設備(BBQ会場、ビーチ)	〈満足度〉100% (※1) ・満足 54% ・やや満足 64% ・やや不満 2% ・不満 0%	〈満足度〉85% (※1)	〈満足度〉100% (※1) ・満足 86% ・やや満足 14% ・やや不満 3% ・不満 0%	S	(要望への対応)  (自己評価) 椅子、テーブルについては細かく対応していく。海鮮メニュー検討する	自主事業で最も売上実績を占めるBBQの満足度を高めるため、改善を促す。 危険箇所においては、指定管理者と県で共有し、改善方法及び処理について適宜対応していく。
自主事業		〈満足度〉100% (※1) ・満足 54% ・やや満足 64% ・やや不満 2% ・不満 0%	〈満足度〉85% (※1)	〈満足度〉100% (※1) ・満足 86% ・やや満足 14% ・やや不満 3% ・不満 0%	S	(要望への対応)  (自己評価) 東屋のテーブル、椅子の破損がある。BBQメニューについては海鮮を検討する。テーブルの修繕を行う。 (自己評価) 椅子、テーブルについては細かく対応していく。海鮮メニュー検討する	自主事業で最も売上実績を占めるBBQの満足度を高めるため、改善を促す。 危険箇所においては、指定管理者と県で共有し、改善方法及び処理について適宜対応していく。
総合評価 (各評価項目の平均)		〈満足度〉96.2% ・満足 68.2% ・やや満足 28% ・やや不満 2.5% ・不満 1.3%	〈満足度〉85% (※1)	〈満足度〉100% ・満足 70% ・やや満足 30% ・やや不満 0% ・不満 0%	S	(自己評価) 全体的にはほぼ満足をいただいている状況だが、やはり温水シャワーの要望が繁忙期前後で多く、ビーチ全体の売り上げに響いている。また観光客のマナーにより地元の利用客特にBBQ利用者のルール違反や迷惑行為が目立つ。対策を検討する必要がある。	施設の清潔さやスタッフ対応の良さ、海がきれいとの意見があり、顧客満足度の高さがうかがえる。今後とも満足度の維持・向上のため、創意工夫に努めること。

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

※満足度とは、指定管理者が提供するサービスに対する利用者の満足度のことをいうものとし、回答選択肢のうち、中位を超える割合により算定するものとする。

## 【評価基準 (②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均

各評価項目においてはそれぞれの満足度

S : 90%以上

A : 80%以上、90%未満

B : 70%以上、80%未満

C : 70%未満

II. サービスの質の確認・評価 取組改善案	今後はインバウンドの来場の回復が予想されるので、引き続きサービスの多言語化対応を進めていく必要がある。ユニバーサルデザインとして、さらにスタッフ研修を行い、対応の強化を図る。また利用者からの要望が強いシャワーの温水化については、令和6年度に改修する予定である。その他の破損箇所についても、県で連携し、優先度の高い箇所より適切に修繕等を実施していく。
---------------------------	--

※「II. サービスの質の確認・評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度( $\alpha + 1$ 年度)の主な取組改善案を記入すること。

## III. 財務状況の確認・評価

## 1. 収支

## (1) 収入

収入項目	令和5年度実績	事業計画(当初)	事業計画(変更後)	令和6年度実績	前年比		計画比		特記事項(変更理由等)
					金額	(%)	金額	(%)	
利用料 金収入	駐車場	3,428,900	6,300,000	—	5,647,300	2,218,400	164.7%	-652,700	89.6% 1台500円
	シャワー料	31,600	2,100,000	—	1,246,800	1,215,200	3945.6%	-853,200	59.4% 1回200円
	計	3,460,500	8,400,000	—	6,894,100	3,433,600	199.2%	-1,505,900	82.1%
指定管理料	—	—	—	—	—	—	—	—	利用料金制のため
自主事 業収入	バーベキュー(器材・食材等)	11,124,690	22,400,000	—	7,510,000	-3,614,690	67.5%	-14,890,000	33.5%
	レジャー関係備品レンタル料等	3,379,410	2,100,000	—	2,834,100	-545,310	83.9%	734,100	135.0%
	マリンスポーツ体験料	5,756,900	9,350,000	—	6,522,350	765,450	113.3%	-2,827,650	69.8%
	キャンプサイト	1,337,900	2,500,000	—	1,120,200	-217,700	83.7%	-1,379,800	44.8%
	トイレットペーパー	0	0	—	0	0.0%	0	0.0%	施設側で常備したため
	売店収入	1,218,588	3,000,000	—	3,804,795	2,586,207	312.2%	804,795	126.8% 食堂・売店
	施設使用料	0	1,400,000	—	888,539	888,539	皆増	-511,461	63.5%
	自動販売機	470,692	450,000	—	464,221	-6,471	98.6%	14,221	103.2%
	イベント事業	0	1,000,000	—	0	0.0%	-1,000,000	—	皆減
	台風被害復旧、施設修繕費	6,042,355	0	—	0	-6,042,355	0.0%	0	皆減 6年度冬季季節風被害復旧費用は、令和7年4月以降の支払いのため令和7年度の収入に計上
	雑収入	5,517,235	600,000	—	796,893	-4,720,342	14.4%	196,893	132.8% ロッカー手数料32.100円、その他雑収入764,793円
	計	34,847,770	42,800,000	—	23,941,098	-10,906,672	68.7%	-18,858,902	55.9%
合計(A)	38,308,270	51,200,000	—	30,835,198	-7,473,072	80.5%	-20,364,802	60.2%	
参考:台風被害復旧等を除いた額	32,265,915	51,200,000	—	30,835,198	-1,430,717	95.6%	-20,364,802	60.2%	

(現状分析・課題)

夏場の台風襲来が少なかったことにより、利用客が大幅に伸びたため、利用料金収入は前年度比199.2%と倍増している。自主事業収入では、売店収入は大幅に伸びている。BBQ収入については、繁忙期の9月の台風や大雨で営業できない期間があり、売り上げが伸び悩んだ。

## (2) 支出(指定管理業務)

支出項目	令和5年度実績	事業計画(当初)	事業計画(変更後)	令和6年度実績	前年比		計画比		特記事項(変更理由等)
					金額	(%)	金額	(%)	
人件費	22,514,573	13,325,000	—	16,264,087	-6,250,486	72%	2,939,087	122%	職員2人(給与、賞与、交通費、法定福利費)、臨時職員
旅費	0	0	—	—	0	0%	0	0%	
需用費	4,536,614	6,074,000	—	4,185,108	-351,506	92%	-1,888,892	69%	消耗品費(トナー代等) 燃料費(草刈機用) 光熱水費(シャワー水)
備品購入費	0	900,000	—	—	0	0%	-900,000	—	皆減
広告宣伝費	200,848	650,000	—	0	-200,848	皆減	-650,000	—	経費削減に伴う削減
旅費	16,510	—	—	—	-16,510	—	0	—	
役務費	1,050,386	576,000	—	625,367	-425,019	60%	49,367	109%	通信運搬費(電話、ネット等) 手数料(振込等) 保守料 役務費
委託料	8,310,970	8,080,000	—	10,348,890	2,037,920	125%	2,268,890	128%	ビーコ監視、浄化槽、警備、草刈り清掃
印刷製本費	0	300,000	—	0	0	0%	-300,000	—	皆減
使用料及び賃借料	51,700	300,000	—	0	-51,700	0%	-300,000	0%	PC・電話機及び草刈機リース等
修繕料	1,997,655	200,000	—	0	-1,997,655	0%	-200,000	0%	指定管理者・修繕(軽微な施設修理)
公租公課	25,600	700,000	—	—	-25,600	0%	-700,000	0%	
予備費	30,000	—	—	—	-30,000	—	0	—	
一般管理費	—	750,000	—	217,500	217,500	0%	-532,500	—	諸会費、寄付金、車両付帯費、減価償却費
その他(台風被害復旧費用立替金)	6,017,000	0	—	—	-6,017,000	0%	0	—	
合計	44,751,856	31,855,000	—	31,640,952	-13,110,904	71%	-214,048	99%	
参考:台風被害復旧費用立替金を除いた額	38,734,856	31,855,000	—	31,640,952	-7,093,904	82%	-214,048	99%	

## (2) 支出(自主事業)

支出項目	令和5年度実績	事業計画(当初)	事業計画(変更後)	令和6年度実績	前年比		計画比		特記事項(変更理由等)
					金額	(%)	金額	(%)	
人件費	0	0	—	0	0%	0	0%	0	
賃金	0	0	—	0	0%	0	0%	0	
報酬費	0	0	—	0	0%	0	0%	0	
旅費	0	0	—	0	0%	0	0%	0	
交際費	0	0	—	170	170	皆増	170	皆増	
需用費	1,643,477	500,000	—	1,485,881	-157,596	90%	985,881	297%	BBQ関連消耗品、光熱水費、燃料費
印刷製本費	0	200,000	—	0	0%	-200,000	0%	0	
役務費	-315,464	5,810,000	—	386,949	702,413	-123%	-5,423,051	7%	保険料、燃料費、通信費、手数料(マリンレジャー運営費用)
委託料	6,186,010	0	—	0	-6,186,010	0%	0	0	皆減 イベント、マリンレジャー関連
使用料及び賃借料	2,428,710	0	—	1,483,135	-945,575	61%	1,483,135	皆増 リース料、漁業権海域使用料	
原材料費	3,580,554	11,363,000	—	5,856,338	2,275,784	164%	-5,506,662	52%	BBQ関連食材費等
備品購入費	0	0	—	0	0%	0	0	0%	
修繕費	0	0	—	0	0%	0	0	0%	
負担金	0	0	—	0	皆減	0	0	0%	
広告宣伝費	12,312	300,000	—	200,395	188,083	1628%	-99,605	67%	
公租公課	0	350,000	—	90,750	90,750	0%	-259,250	皆減	
その他	3,107,576		—	-2,009	-3,109,585	0%	-2,009	皆増 諸会費、予備費、その他諸原価	
合計	16,643,175	18,523,000	—	9,501,609	-7,141,566	57%	-9,021,391	51%	
合計(指定管理料+自主事業)(B)	61,395,031	50,378,000	—	41,142,561	-20,252,470	67%	-9,235,439	82%	
参考:台風被害復旧費を除いた額	55,378,031	50,378,000	—	41,142,561	-14,235,470	74%	-9,235,439	82%	

(現状分析・課題)

支出経費を大幅に削減したことにより、昨年度に比べて赤字幅は減少したが、依然として収益はマイナスとなっている。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。計画比は事業計画(当初)と比較する。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

## 2. 経営分析指標

評価指標	令和5年度実績	事業計画(当初)	事業計画(変更後)	令和6年度実績	前年比		計画比		特記事項(変更理由等)
					金額	(%)	金額	(%)	
事業収支(C) (収入(A)-支出(B))	-23,112,116	822,000	—	-10,307,363	12804753	44.6%	-11,129,363	-1353.94%	台風被害復旧費用を除く
収益率 (事業収支(C)/収入合計(B))	-71.6%	1.6%	—	-33.4%	0	46.7%	-35.03%	-2182.09%	台風被害復旧費用を除く
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	10.7%	16.4%	—	22.4%	0	208.5%	5.95%	36.28%	台風被害復旧費用を除く
人件費比率 (人件費/支出(B))	40.7%	26.5%	—	39.5%	-0	97.2%	13.08%	49.46%	台風被害復旧費用を除く
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	26.2%	16.0%	—	25.2%	-0	96%	9.11%	56.83%	台風被害復旧費用を除く
利用者あたり管理コスト (支出(B)/利用者数)	1,776	775	—	868	-908	48.9%	9332.51%	12.04%	台風被害復旧費用を除く
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料/利用者数)	—	—	—	—	—	—	—	—	指定管理料なし

(現状分析・課題)

コロナの影響はほぼなくなったとは言え、インバウンドの来場はまだ完全に回復とは言えない。また今年も大雨警報、7月後半、9月の台風の影響で営業が出来ていない日が21日間もあり売り上げに響いている。その中で、売店の営業が定着しつつあり、売り上げを伸ばした要因とはなってきている。温水シャワーの設置の遅れはキャンプ、修学旅行の際の選定から外れる大きな要因となっている。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。計画比は事業計画(当初)と比較する。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

評価(③財務状況)

C

## 【評価基準(③財務状況)】

収益率(事業収支/収入合計)

A : 0%以上

B : -5%以上、0%未満

C : -5%未満

III. 財務状況の確認・評価 取組改善案	収益改善のため更なる利用客の増加を取り組む必要がある。またイベント等を行い自主事業での売り上げを伸ばしていく必要がある。 温水化シャワー設備についても、県と連携しながら進めて行く必要がある。
--------------------------	--

※「III. 財務状況の確認・評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度( $\alpha + 1$ 年度)の主な取組改善案を記入すること。

## 【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入－支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支／収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込みが適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入／収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出／利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料／利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

## IV. 総合評価

## 1. 目標

評価項目		評価指標	2024(R6年度)	2025(R7年度)		2026(R8年度)	2027(R9年度)	目標設定の考え方
成果指標	①利用状況	利用者数	65,000	68,000		70,000	70,000	R4の目標58,000人に加えてインバウンドの集客考慮して60,000人とした。
	②満足度	満足度	85%	90%		95%	95%	インバウンドの多言語化アンケートを増やすことで、より課題を抽出する。
財務指標	③財務状況	収益率	2%	2%		3%	3%	台風対策、ビーチの認知度を上げ、閑散期での自主事業の収益を伸ばす。

## 2. 評価結果

評価項目		評価指標	令和5年度実績	事業計画(目標値)	令和6年度実績	前年比	計画比	現状分析・課題	評価(点数)	取組改善案	令和6年度目標値
成果指標	①利用状況	利用者数	31,176	65,000	47,379	152%	73%	ビーチの認知度が低く、特徴がないためビーチの売りを創る必要がある	C(-10)	今後は、関係団体や観光団体等と連携したイベント開催を模索するなど、インバウンド団体客、修学旅行や遠足等の学校行事の誘致に努めるこ	65,000
	②満足度	満足度	96.2%	85%	100.0%	104%	118%	これまでコロナで外出もできなかつた反動もあり満足度が上がっているが、より細やかな対応が必要だと考えている。	S(20)	今後も、顧客満足度の向上及び顧客ニーズを捉えたサービスの提供に努める。	85%
財務指標	③財務状況	収益率	-71.6%	2%	-33.4%	47%	-1671%	ビーチの質の向上、ビーチの清掃が難しく本当にきれいなビーチとは言えない認知度を上げるためにビーチの質を上げていく必要がある	C(-5)	計画したイベントの確実な実施及び拡充と、オフシーズンの柱の事業であるキャンプサイト運営など、収入増につなげる方策を強化する必要がある。	2%
活動指標	④重点取組事項	安全安心保安警備	安心安全に施設が利用できるように警備巡回や休憩中、無断遊泳者へ注意喚起を実施した。	老朽化した施設の(手すり等)修繕、引き続き海上保安庁との連携、注意事項の多言語化	警備巡回や遊泳の監視員を配置した結果、大きな事故はなかった。また運用委員会意見を受け、AED消防講習会を受講し、その旨掲示している。			AED消防講習会を受講し、その旨掲示した。また津波フラグを活用した防災訓練も実施している。引き続きビーチ管理における安全安心に向けて取り組みを進めていく必要がある。	S(10)	ビーチ管理においては安全安心が一番であるため、海上保安庁や消防との連携を図るため令和6年度は、ビーチを海上保安官連絡所に位置付けること、海の事故ゼロのリーディングビーチと併せてインバウンド対応として多言語対応を行なう。	安心安全に施設が利用できるよう、海上保安官連絡所の設置や多言語対応を行なう。

総合評価	概ね適正に管理されている。 運営の継続性・安定性を確保するため、自主事業の強化を図るなど収益率の向上に取り組む必要がある。	B(15)
------	--	-------

※重点取組事項の「評価指標」には具体的な取組内容を記載すること。

※「総合評価欄」には、モニタリングの実施結果に基づき、施設の管理運営が適正に行われているか所見を記載すること。

※「現状分析・課題」、「取組改善案」は6-Ⅰ～Ⅲから転記する。

※「 $\alpha + 1$ 年度目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度の目標を可能な限り数値目標として設定する。

## 【評価基準】

## ①利用状況

- 目標値に対する達成率  
 S : 110%以上  
 A : 100%以上、110%未満  
 B : 80%以上、100%未満  
 C : 80%未満

## ②満足度

総合評価における満足度（各評価項目の平均値）

- S : 90%以上  
 A : 80%以上、90%未満  
 B : 70%以上、80%未満  
 C : 70%未満

## ③財務状況

- 収益率（事業収支／収入合計）  
 A : 0%以上  
 B : -5%以上、0%未満  
 C : -5%未満

## ④重点取組事項

- 目標に対する評価  
 S : 目標を大きく上回る  
 A : 目標を概ね達成  
 B : 目標を下回る  
 C : 目標を大きく下回る

## 【各評価項目点数】

	①利用状況	②満足度	③財務状況	④重点取組事項
S	20	20	—	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

## 【総合評価基準】

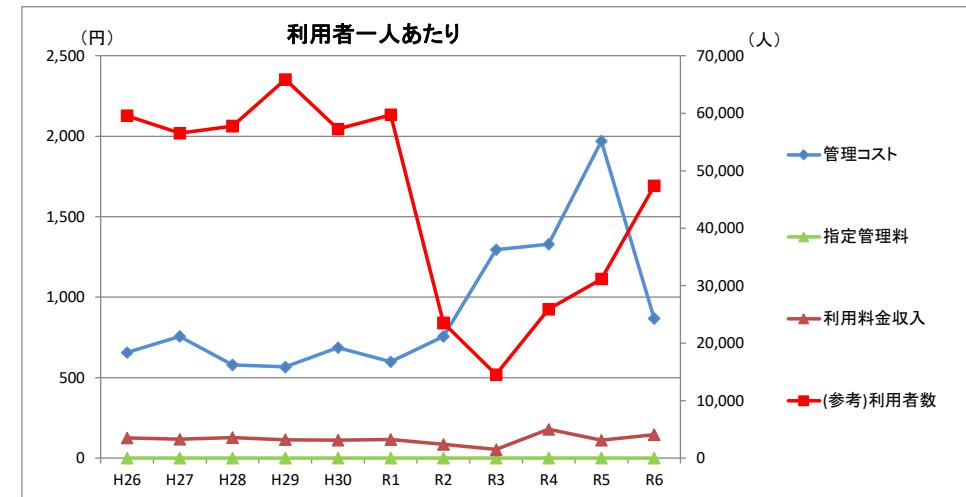
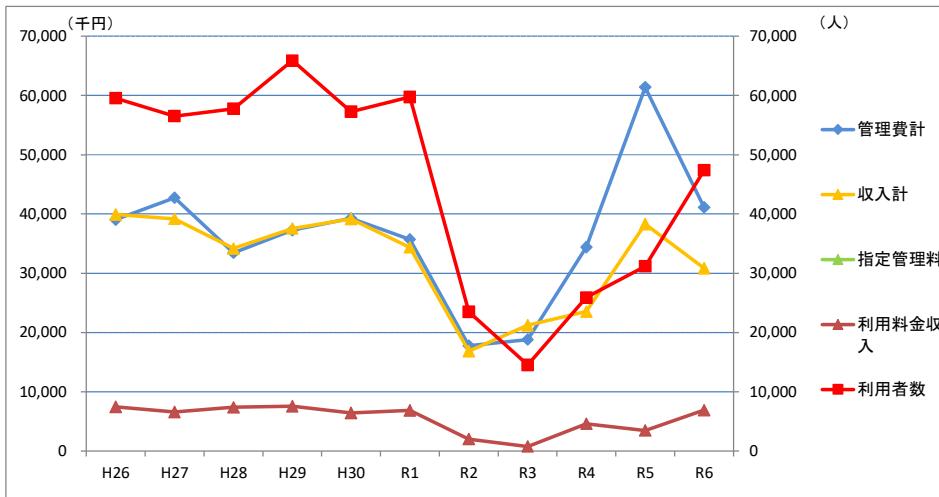
	総合評価基準
S	40点以上かつ各評価項目においてC評価がないこと
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

## 経営状況分析シート【施設名称:中城湾港安座真海浜公園】

指標		単位	直営		指定管理																		
			H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
成果指標	利用者数	目標人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	58,000	60,000	65,000	68,000	70,000
		実績人	167,335	141,283	102,602	102,661	110,939	71,394	65,493	68,453	60,646	59,550	56,516	57,768	65,887	57,265	59,751	23,504	14,525	25,911	31,176	47,379	
		目標比%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	45%	52%	73%	0%	0%
		H17比%	84%	61%	61%	66%	43%	39%	41%	36%	36%	34%	35%	39%	34%	36%	14%	9%	15%	19%	28%	0%	0%
財務指標	指定管理料 千円	県負担割合(指定管理料／管理費計)%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0.0%	0.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	
		利用料金収入千円	21,401	18,934	13,726	13,629	12,176	10,305	8,163	7,993	8,931	7,457	6,601	7,382	7,543	6,417	6,867	2,004	767	4,618	3,460	6,894	
		利用料金比率(利用料金収入／収入計)%	21%	19%	18%	21%	22%	23%	19%	17%	22%	20%	16%	20%	12%	4%	20%	9%	22%	#DIV/0!	#DIV/0!		
		収入計千円	71,901	68,443	53,779	65,211	63,171	55,869	39,547	36,087	38,785	39,904	39,182	34,194	37,578	39,156	34,385	16,841	21,240	23,547	38,308	30,835	
		管理費計千円	68,336	67,985	50,447	59,151	55,157	48,806	39,236	37,000	43,387	39,061	42,755	33,464	37,284	39,267	35,732	17,763	18,815	34,423	61,395	41,142	
		収支千円	6,060	8,014	7,063	311	-913	-4,602	843	-3,573	730	294	-111	-1,347	-922	2,425	-10,876	-23,087	-10,307	0	0	0	
		収益率(収支／収入計)%	9%	13%	13%	1%	-3%	-12%	2%	-9%	2%	1%	0%	-4%	-5%	11%	-46%	-1%	-1	-0	#DIV/0!	#DIV/0!	
		一人あたり管理コスト円	576	497	684	599	541	715	656	757	579	566	686	598	756	1,295	1,329	1,969	868	#DIV/0!	#DIV/0!		
/単位	一人あたり指定管理料円	一人あたり指定管理料円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		一人あたり利用料金収入円	133	110	144	125	117	147	125	117	128	114	112	115	85	53	178	111	146	#DIV/0!	#DIV/0!		

※施設の特性に応じて、経営状況の分析に適した指標の追加・削除や、表示方法の修正を行うこと。

※グラフは直近10年間の実績で作成すること。指定管理者制度導入前に直営の期間がある施設については、指定管理者制度導入直前1年間のデータも含めて作成すること。



## 実績変動の要因分析

R6年度	インバウンド回復の遅れなどにより入場者数及び収入が伸び悩んだ。
R5年度	インバウンド回復の遅れや台風来襲のため入場者数及び収入が伸び悩んだ。
R4年度	コロナ禍による利用制限や台風接近のため入場者数及び収入が落ち込んだ。
R3年度	コロナ禍による休園のため入場者数及び収入が前年度より大きく落ち込んだ。
R2年度	コロナ禍による休園のため入場者数及び収入が前年度より大きく落ち込んだ。
R1年度	台風の接近が多くBBQやマリンスポーツ等の影響が大きく、収入は前年度比減となっている。

## 労働条件等自主点検表

施設名称	中城港湾安座真海浜公園（あざまサンサンビーチ）	対象年度	令和6年度
指定管理者名	安座真海浜公園運営企業体		

※ 次の確認事項について、「指定管理者による確認結果」欄の該当する箇所に○又は必要事項の記載をお願いします。

確認事項	指定管理者による確認結果																											
<b>1 労働条件の明示</b> 労働契約を締結するに当たり、労働時間、賃金、退職(解雇の事由を含む。)、安全衛生等の労働条件を労働者に対し明示していますか。この場合において、労働時間、賃金等に関する事項について書面を交付していますか。	就業規則、労働条件通知書を交付して労働条件全般について明示している	労働条件全般について口頭で明示するとともに、労働時間、賃金等に関する事項については書面を交付している	労働条件全般について口頭で明示しているが、書面の交付はしていない	労働時間、賃金等の労働条件の一部についてのみ口頭で明示している	労働契約締結時には明示していない																							
	1	<input type="radio"/>	2	3	4	5																						
(3～5については、改善が必要です)																												
<b>2 就業規則</b> 就業規則(労働時間、休日、休憩、休暇、賃金の定め方及び支払方法、退職(解雇の事由を含む。)等、労働条件の具体的細目を定めた規則)を作成していますか。また、就業規則の内容が実際の勤務の状況に合っていますか。	常時使用する労働者は10人未満である。	常時使用する労働者が10人以上である																										
		作成して監督署に届け出てあり、内容も実情に合っている	作成して監督署に届け出ているが、内容が実情に合っていない	作成してあるが、監督署に届け出ていない	作成していない																							
(3～5については、改善が必要です)																												
<b>3 所定休日</b> 所定休日をどのように定めていますか。  休日は少なくとも毎週1日又は4週間を通じ4日を与えなければなりません。(法第35条)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center; padding: 2px;">週休2日制</td> <td colspan="2" style="text-align: center; padding: 2px;">週休1日制</td> <td style="padding: 2px;">その他</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">完全(毎週)</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">月3回</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">隔週</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">月1～2回</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">週1日</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">4週4日</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">4週3日以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">1</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">2</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">3</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">4</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="radio"/></td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">5</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">6</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">7</td> </tr> </table>						週休2日制				週休1日制		その他	完全(毎週)	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下	1	2	3	4	<input type="radio"/>	5	6	7
	週休2日制				週休1日制		その他																					
完全(毎週)	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下																						
1	2	3	4	<input type="radio"/>	5	6	7																					
(7については、改善が必要です)																												

確認事項	指定管理者による確認結果																		
4 年次有給休暇 年次有給休暇についてはどう取り扱っていますか。  年次有給休暇は、6ヶ月間継続勤務し、全労働日の8割以上を出勤した労働者については10労働日、以降1年ごとに付与日数を増加しなければなりません。(法第39条)	法定どおりの年次有給休暇を与えている  1	年次有給休暇を与えているが、付与日数が法定を下回っている  2	年次有給休暇を与えていない  3																
(2、3については改善が必要です)																			
※年次有給休暇の法定の付与日数表（週所定労働日数が5日以上、又は、週所定労働時間が30時間以上の労働者の場合。）																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>勤続年数</th><th>0.5</th><th>1.5</th><th>2.5</th><th>3.5</th><th>4.5</th><th>5.5</th><th>6.5以上</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>付与日数</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>14</td><td>16</td><td>18</td><td>20</td></tr> </tbody> </table>				勤続年数	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5以上	付与日数	10	11	12	14	16	18	20
勤続年数	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5以上												
付与日数	10	11	12	14	16	18	20												
※なお、月30時間未満の労働者は比例付与することとされています。																			
年次有給休暇が10日以上付与される労働者に対して、年5日の年休を取得させていますか。(法第39条)	法定どおりの年次有給休暇を取得させている  1	取得日数が法定を下回っている  2																	
(2については、改善が必要です)																			
5 健康診断 定期健康診断を実施していますか。  常時使用する労働者については、年1回定期に健康診断を行わなければなりません。(労働安全衛生規則第44条) なお、深夜業を含む業務等に常時従事する労働者に対しては6月以内ごとに1回定期に健康診断を行わなければなりません。(労働安全衛生規則第45条)	毎年1回以上定期的に行っている  1	年によって行ったり行わなかったり一定しない  2	行ったことがない  3																
(2、3については、改善が必要です)																			
6 最低賃金 地域別最低賃金以上の賃金を支払っていますか。  なお、地域別最低賃金には次の賃金は含まれません。 ①臨時に支払われる賃金(結婚手当等) ②1月を超える期間ごとに支払われる賃金(賞与等) ③所定外・休日・深夜の労働に対して支払われる割増賃金 ④精勤手当、通勤手当、家族手当	支払っている  1	支払っていない  2																	
(2については、改善が必要です。)																			
【支払う賃金(A)と地域別最低賃金(B)の比較方法】																			
(時給制の場合)																			
$\frac{\begin{array}{ c } \hline \text{時間によって定められた賃金} \\ \hline (\text{時間給}) \\ \hline \end{array}}{\begin{array}{ c } \hline \text{地域別最低賃金} \\ \hline (\text{時間額}) \\ \hline \end{array}} \geq (A) \quad (B)$																			
(日給制、週給制、月給制の場合)																			
$\frac{\begin{array}{ c } \hline \text{日、週、月等によって定められた賃金} \\ \hline \end{array}}{\begin{array}{ c } \hline \text{当該期間における所定労働時間数(日、週、月によって所定労働時間が異なる場合には、それぞれ1週間、4週間、1年間の平均所定労働時間数)} \\ \hline \end{array}} \geq (A) \quad (B)$																			
2 ページ																			

確認事項	指定管理者による確認結果																								
7 時間外・休日労働協定の締結 時間外及び休日の労働を行わせる場合に必要となる労使協定(36協定)を締結し、労働基準監督署に届け出ていますか。																									
使用者は、従業員の代表者などと書面による協定をし、労働基準監督署に届け出た場合においては、その協定で定めるところによって労働時間を延長し、又は休日に労働させることができる。(法第36条)	<table border="1"> <tr> <td>36協定を締結し、労基署に届け出ている</td> <td>36協定を締結しているが、労基署に届け出ていない</td> <td>36協定を締結していない</td> <td>協定の対象外(契約上、時間外労働を想定していない等)</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </table>				36協定を締結し、労基署に届け出ている	36協定を締結しているが、労基署に届け出ていない	36協定を締結していない	協定の対象外(契約上、時間外労働を想定していない等)	1	2	3	4													
36協定を締結し、労基署に届け出ている	36協定を締結しているが、労基署に届け出ていない	36協定を締結していない	協定の対象外(契約上、時間外労働を想定していない等)																						
1	2	3	4																						
	(2、3については改善が必要です。)																								
8 割増賃金 時間外労働・休日労働又は深夜労働を行わせた場合に、その時間に対する割増賃金は、どのように支払っていますか。	<p>時間外労働・深夜労働について</p> <table border="1"> <tr> <td>2割5分以上の割増率をしている</td> <td>2割5分未満の割増率をしている</td> <td>時間外労働又は深夜労働をさせているが、支払っていない</td> <td>時間外労働及び深夜労働をさせていない</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </table>				2割5分以上の割増率をしている	2割5分未満の割増率をしている	時間外労働又は深夜労働をさせているが、支払っていない	時間外労働及び深夜労働をさせていない	1	2	3	4													
2割5分以上の割増率をしている	2割5分未満の割増率をしている	時間外労働又は深夜労働をさせているが、支払っていない	時間外労働及び深夜労働をさせていない																						
1	2	3	4																						
法定労働時間を超える時間外労働については、2割5分以上、月の時間外労働が60時間を超えた場合については、5割以上、法定休日における休日労働については3割5分以上、深夜労働(午後10時から翌日午前5時の間の労働をいいます。)については2割5分以上の割増賃金を支払わなければなりません。(法第37条)	(2、3については改善が必要です。)																								
※割増賃金の基礎となる賃金には、家族手当、通勤手当、別居手当、子女教育手当、住宅手当、臨時に支払われた賃金、一箇月を超える期間ごとに支払われる賃金は算入しません。	<p>時間外労働が60時間を超えた場合</p> <table border="1"> <tr> <td>5割以上の割増率をしている</td> <td>5割未満の割増率をしている</td> <td>60時間超える時間外労働をさせているが、支払っていない</td> <td>60時間超える時間外労働をさせていない</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </table>				5割以上の割増率をしている	5割未満の割増率をしている	60時間超える時間外労働をさせているが、支払っていない	60時間超える時間外労働をさせていない	1	2	3	4													
5割以上の割増率をしている	5割未満の割増率をしている	60時間超える時間外労働をさせているが、支払っていない	60時間超える時間外労働をさせていない																						
1	2	3	4																						
	(2、3については改善が必要です。)																								
休日労働について	<table border="1"> <tr> <td>3割5分以上の割増率をしている</td> <td>3割5分未満の割増率をしている</td> <td>休日労働をさせているが、支払っていない</td> <td>休日労働をさせていない</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </table>				3割5分以上の割増率をしている	3割5分未満の割増率をしている	休日労働をさせているが、支払っていない	休日労働をさせていない	1	2	3	4													
3割5分以上の割増率をしている	3割5分未満の割増率をしている	休日労働をさせているが、支払っていない	休日労働をさせていない																						
1	2	3	4																						
	(2、3については改善が必要です。)																								
8 雇用保険、健康保険及び厚生年金保険の加入 当該指定管理施設で勤務する従業員は、雇用保険、健康保険及び厚生年金保険に加入していますか。 また、未加入者がいる場合は、その理由を記載してください。	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">従業員数</th> <th colspan="2">雇用保険</th> <th colspan="2">健康保険</th> <th colspan="2">厚生年金保険</th> </tr> <tr> <th>加入数</th> <th>未加入数</th> <th>加入数</th> <th>未加入数</th> <th>加入数</th> <th>未加入数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>					従業員数	雇用保険		健康保険		厚生年金保険		加入数	未加入数	加入数	未加入数	加入数	未加入数	9	8	1	8	1	8	1
従業員数	雇用保険		健康保険		厚生年金保険																				
	加入数	未加入数	加入数	未加入数	加入数	未加入数																			
9	8	1	8	1	8	1																			
※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもっぱら従事する従業員(令和〇年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>保険の名称</th> <th>未加入者がいる理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>雇用保険</td> <td>基本全員加入 ダブルワークなどで、本人の希望によって</td> </tr> <tr> <td>健康保険</td> <td>労働時間が3／4未満の為</td> </tr> <tr> <td>厚生年金保険</td> <td>労働時間が3／4未満の為</td> </tr> </tbody> </table>					保険の名称	未加入者がいる理由	雇用保険	基本全員加入 ダブルワークなどで、本人の希望によって	健康保険	労働時間が3／4未満の為	厚生年金保険	労働時間が3／4未満の為												
保険の名称	未加入者がいる理由																								
雇用保険	基本全員加入 ダブルワークなどで、本人の希望によって																								
健康保険	労働時間が3／4未満の為																								
厚生年金保険	労働時間が3／4未満の為																								